

# 英米文化学会会報

第 58 号

平成 16 年 2 月 10 日版



Oxford, Mississippi

## 目次

- 英米文化学会第 113 回例会および総会開催のお知らせ
- 例会発表レジュメ
- 第 114 回例会研究発表者募集
- 第 22 回大会研究発表者募集
- 分科会設立のご案内
- 事務局からのお知らせ

### 英米文化学会第 113 回例会および総会開催のお知らせ

表記の会を下記の要領で開催します。万障お繰り合わせの上ぜひご出席ください。  
日時：平成 16 年 3 月 13 日(土) 午後 3 時～午後 5 時 30 分 午後 2 時 30 分受付開始  
場所：日本大学歯学部 3 号館 2 階第 5 講堂、第 6 講堂(お茶の水ニコライ堂隣)  
当日会費：100 円

総会：午後 5 時 20 分～50 分 (例会後、続けて総会を開きます)

懇親会：午後 6 時 00 分～8 時 会場：レストラン第一ホテルプリオール  
(例会会場隣 中央大学記念会館 1 階)  
会費：3000 円

懇親会のみへの参加も歓迎いたします。

## < 研究発表 >

### 1. 英文理解までの認知プロセス (15:00 -- 15:40)

発表 森 千佳子 (東京純心女子大学)  
亀山 孝 (共愛学園高等学校)  
司会 松谷明美 (横浜市立大学)

### 2. イーストエンドの美

“ Lord Arthur Savile's Crime ” を中心にして (15:50 16:20)

発表 川口淑子 (東京工科大学)  
司会 塚田英博 (城西大学)

### 3. ウェブサイトを教材にクイズ作成を課すライティング授業 (16:30 17:20)

発表 渡辺節子 (青山学院大学)  
司会 伊東田恵 (豊田工業大学)

## 研究発表レジュメ

### 1. 英文理解までの認知プロセス

森 千佳子 (東京純心女子大学)  
亀山 孝 (共愛学園高等学校)

先行文脈により次々と設定されるフレームの中で、出現した英文を理解するには、参照点構造が有効に作用することが必要とされる。参照点構造とは、目標とする意味へ到達する際に、ある実体の解釈を手がかり(例えば、小さなレストランへの道案内をする時に、そのレストランの近くにあり目立つ郵便局等の建物にまず言及する)とする人間の基本的な認知能力で、この構造は比(陰)喩(Metaphor)や換喩(Metonymy)、代名詞照応までに偏在する。たとえば、照応表現では、同一指示や非同指示(言語化されていない要素を同定する)において、照応形「定冠詞+名詞」の指示対象物と意味の関連性をもつ指示対象物とが、直前の談話で意味理解に必要な接触がなされなければならない。この場合、意味関連をもつ指示対象物が参照点として働き、「定冠詞+名詞」が表す意味への到達過程に大きく影響することになる。本発表では、比喩・換喩、代名詞照応に関する様々な英文例により、参照点構造を分析してみる。

### 2. イーストエンドの美 “ Lord Arthur Savile's Crime ” を中心にして

川口淑子 (東京工科大学)

占い師に予言される通りに貴族の青年が殺人を犯そうとするオスカー・ワイルドのコメディ、「Lord Arthur Savile's Crime」は、知的犯罪と芸術、社会的制約を関連させたワイルドらしい作品である。今回の発表では、この作品で主人公がイーストエンドに迷い込み、街の人々や光沢を放つ野菜に出会う場面に注意を向けながら、誤解を受けることの多いワイルドの思想のいくつかを再検討する。特に人工的なものを賛美し、自然を軽蔑すると一般に考えられているワイルドの自然観を捉え直し、これが、当時の社会に対する作者の考えと、どのように繋がってゆくのかを考察する。

### 3. ウェブサイトを教材にクイズ作成を課すライティング授業

渡辺節子 (青山学院大学)

ライティング授業は、学生はまず対象の題材を見つけ、その題材について情報を集め、自分の考察や感想を加え、それを出来るだけ正しい自然な英文にすることから成り立っている。しかし一般に学生は題材の選択に困惑したり、情報を集めるのに十分な時間がとれないなどのために、皮相な内容にならざるをえない。また書いたものが良い英文か否かも判断出来ない。これらの授業の困難さを解決する一手段として、ウェブサイトに Authentic な英文で書かれた世界各国の地理、歴史、文化の紹介文を求めて素材にし、初めから英文で各国に関するクイズを作らせて見た。この方法により、学生は Authentic な英文を多量に読み、その中から自分の必要とする表現を見つけることができる。同時にその日本語版も並行して作成させ、学習効果を

増すことができた。その成果をウェブ上にアップロードさせることにより、強い満足感を得させることができた。

### 第 114 回例会研究発表者募集

6月12日(土)に第114回例会を日大歯学部(予定)で開催いたします。研究発表の申し込み締め切り日は4月12日です。発表申し込みはレジュメ(四百字以内)を添付の上、例会担当までお申し込みください。

発表申込み先：例会担当 小林 弘 Eメール： HiroshiKobayashi@SES-online.jp  
Tel：04-2925-3658 携帯：090-5805-6289

### 第 22 回大会発表者募集

第 22 回大会が以下の通り開催されます。

開催日：平成 16 年 9 月 11 日(土)、12 日(日)

場所：文京学院大学軽井沢セミナー・ハウス(予定)

上記大会の研究発表者を募集いたしますので、会員の皆様にはふるってお申し込みのほどお願いいたします。発表希望の先生は、研究発表題名、400 字程度の発表要旨に、ご氏名、所属(勤務先)を明記の上、メールでお送りください。発表時間は 30 分となります。発表申込み締切は 4 月 10 日です。

発表申込み先：大会担当理事 曾村 充利

E-mail：MitsutoshiSomura@SES-online.jp

〒165-0032 中野区鷺宮 4-25-12

：03-3330-8741

### 分科会設立のご案内

新たに分科会が以下のように設立されました。英米文化学会会員で興味のある方は下記の先生にまでご連絡下さい。

発起人氏名：鈴木正彦(代表) 塚田英博、川口淑子

分科会名称：「ヴィクトリア朝研究」

研究目的：文学、思想、芸能、生活文化をはじめとしたヴィクトリア朝文化の諸相を、新たな観点から多角的・総合的に研究するとともに、それらが新世紀の文化に与えた影響を考察する。

最終出版物の概要：タイトル『ヴィクトリア朝の文化 - - 世紀末から新世紀へ - - 』（仮題）

### 事務局からのお知らせ

#### 学会ホームページが独自ドメインに移転

1月末より、英米文化学会ホームページが、装いも新たに別の URL に移転となりました。学会独自のドメイン名を取得しての、本格的なサイトです。

新ホームページは、

<http://www.SES-online.jp/indexj.html>

となっています。今までのホームページの URL は 2 月で閉鎖になります。ブックマークの変更をお願いします。さまざまな CGI なども利用可能ですので、手始めにオンライン入会フォームを開始しております。ページの管理についてお気づきの点は、事務局 佐藤治夫

HaruoSato@SES-online.jp までメールを入れてください。

## 学会ドメイン (SES-online.jp) のメールアドレスを希望する会員に発行

Hotmail などの無料ウェブメールをお使いの会員に朗報です。ウィルス対策の一環として企業・学校によっては、Hotmail などからのメールを受信できないようにセットする場合も多く見られます。学会ドメインの取得に伴い、メールアドレスを希望者にお渡し(有料)できるようになりました。年 2,520 円(税込み)にて、学会員の氏名(例 HaruoSato@SES-online.jp の形式)のメールアドレスを付与しますので、通常のメールソフトによる使い方当方指定のページから「ウェブメール」として、送受信が可能です。インターネットに接続できる環境にある会員であることが条件です。ダイヤルアップ、常時接続の条件下でも、もちろん使用できますが、学会によるダイヤルアップサービスではありませんので、ご注意ください。勤務先のメールアドレス以外にもアドレスが必要な会員も対象とします。お申し込みは事務局まで。

## オンライン・アンケート調査ができるようになりました

研究・調査のためのアンケートが、オンラインにて簡単に実行できるようになりました。依頼を受けてアクセスした人が記入した結果が、毎回メールで転送され、実施者の手元に届く形式となります。アンケート調査を希望する会員は、会員へのアンケート調査依頼メールの文言を含めて、希望するアンケート調査票などを、事務局を通じて理事会にご提出ください。

ただしアンケート結果は、上記ドメインのメールアドレスへのみ転送され、会員の希望するアドレスには転送できない仕様となっておりますのでご了承ください。上記の学会ドメイン名のアドレス所有者のみへの無料サービスとなります。

## メールアドレス行方不明者

入会時にお届けいただいたメールアドレスが、移転・変更のために、学会事務局からの連絡メールが戻ってくるケースが見られます。最近学会からメールが来ないと思われる会員は、事務局までメールをご送信ください。上記のホームページ移転のお知らせは事務局からメールをお出ししておりますので、「行方不明」の目安としてください。ご住所の移転などによる、年 4 回発行の会報の不着も、同様に何らかの形でお知らせください。学会ではファックスでの受信は廃止させていただいておりますので、メールを未使用の方は、通常郵便にて、新しい連絡先をお知らせください。

## 会員の動き

### 【新入会員】

省略

### 【住所変更(新住所など)】

省略

英米文化学会会報 第 58 号

編集/発行: 英米文化学会

編集責任者: 石山伊佐夫(広報担当)

Isaolshiyama@SES-online.jp

〒224-0028 横浜市都筑区大圃西 3-3-1001 045-592-6570

年会費等振込先: 郵便振替 加入者名 英米文化学会 口座番号 00160-7-611777

問い合わせ先 英米文化学会事務局 佐藤治夫 03-3219-8160 ファックス 03-5204-8787

E-mail: HaruoSato@SES-online.jp 学会ホームページ <http://www.SES-online.jp/indexj.html>